

▶ **これはタメになる「できる大人のモノの言い方大全」**
豊富な事例で本当にタメになります。

▶ **コンピューティングの発展で生活はどう変わる？**
今さらというテーマですが「コンピュータって？」という本を読んでみました。その内容に刺激を受けて、これから先コンピュータで何ができるようになるのかを考えてみました。皆様は何を期待されますか？

▶ **ネットウヨって凄いなんでしょうか？**
どうなのでしょう。ご覧ください。

▶ **東大卒の落語家って知ってます？？**
素晴らしい噺家です。皆様で応援しませんか？

▶ **IT経営者が素晴らしい小説を発表！！**
上下巻500ページの大作です。感心しました。

▶ **東大卒にもこんな素晴らしい女性がいます！**
経済学部首席で卒業なのです。冒頭に写真があります。是非覗いてみてください。

▶ **「シグナル&ノイズ」予測の精度を上げる虎の巻です！**
感心する内容の連続でしたが、A5番600ページに及ぶ力作でしたので、まとめて時間がかかりました。この内容をマスターすれば、予想やとしてあるいは金儲けやとして成功できますね。

▶ **この方も素晴らしい見識です！！**
「この方」とはJR東海の葛西会長のことです。感服いたしました。「致知」からの引用です。

▶ **日中韓の国民性の違いはどうなっていますか？**
これについては、いろいろな見方をされる方がおられるだろうと思いましたが、少し歯切れが悪くなっている面もあります。私見としてご勘弁ください。

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- モノの言い方の良しあしを知っていただく。

ねらい：

- この本を入手して今後の言動の参考にさせていただく。



この本は、2013年の日販調べのベストセラーランキング7位で、10位までに入ったビジネス向け書籍で唯一私が知らなかったものです。と言っても、ビジネス向け書籍は全部で3冊しかありません。

著者は「話題の達人倶楽部」という集団で奥付けの紹介ではこう書かれています。

カジュアルな話題から高尚なジャンルまであらゆる分野の情報を網羅し、常に話題の中心を迫りかける柔軟なプロ集団彼らの提供する話題のクオリティの高さは、業界内外で注目のマトである

なんだか正体が分かりません。

しかし、内容はランキングに入るだけあって、なかなかのものです。


以下のような構成です。

1. できる大人は「社交辞令」が堂々と言える！
2. かけひき上手は「聞き方」「頼み方」のツボを知っている！
3. カシコい大人はこの「断り方」「謝り方」でピンチを抜け出す！
4. 「気遣い」できる人は決め手のひと言と言える！
5. 「もてなし上手」は、こんなモノの言い方ができる！
6. 好感度の高い人は「ほめ方」のツボを知っている！
7. 「常識力」のある人はさりげないひと言で一目おかれる！
8. 世渡り上手は角を立てずに「自己主張」できる！
9. 人の気持ちが分かる人は、いい言葉で「いい人間関係」をつくる！
10. 結果を出す人は「会議」と「電話」をソツなくこなす！

どんなことが書いてあるか、読んでみたくなるでしょう？なかなか的確なことが書いてあります。

ぜひ読んでみてください。私が皆様へのお勧めとして選んだのは以下の内容です。

◎まずは、知っておくとよい言い換え方です。それぞれ丁寧な解説がついています。

 「傷つけないための言い換え」

×の言い方	○の言い換え
× 優柔不断	○ 思慮深い
× 頑固	○ 意志が固い
× 気が小さい	○ 謙虚
× 気弱で頼りない	○ やさしい、温厚
× 要領が悪い	○ マイペース、正直すぎる方
× うまく立ち回る人	○ 周囲がよく見えている人
× 平凡	○ 手堅い、なかなか
× 小心者	○ 慎重な
× おとなしい	○ 協調性の高い
× しつこい	○ 粘り強い
× あきらめが悪い	○ 失敗してもくじけない
× のんびりしている	○ 余裕をもっている
× ルーズである	○ 自分のペースで動く
× 細かいことを気にする	○ 几帳面
× 新しいことに挑戦しない	○ 堅実
× 行動力がない	○ じっくり考える

 「人間関係のトラブルを避ける言い換え」

×の言い方	○の言い換え
× せっかち	○ 頭の回転が速い
× 無鉄砲	○ 失敗をおそれない
× 遠慮が無い	○ 堂々としている
× 八方美人	○ 誰とでも仲良くできる
× そそっかしい	○ 行動が素早い
× すぐに意見を変える	○ 変化に対応できる
× 人の意見に左右される	○ 人の意見を尊重する
× 理屈っぽい	○ 論理的である
× 信念がない	○ 柔軟である
× 強引	○ リーダーシップがある
× 堅苦しい	○ きちんとしている
× 無礼な人	○ 物怖じしない人
× 地味な	○ 素朴な
× 特徴がない	○ ソツなくこなす
× 能力が劣る	○ 可能性を秘めた
× 応用がきかない	○ 基本に忠実
× うるさい	○ 元気
× 器用	○ 手慣れた

 「相手を怒らせないための言い換え」

×の言い方	○の言い換え
× 行きあたりばったり	○ 臨機応変
× 独りよがり	○ 考えに自信を持っている
× 耳を貸さない	○ 信念が強い
× 視野が狭い	○ 集中している
× 気が利かない	○ 物事に動じない
× 約束を守らない	○ マイペース、何かと多忙
× 常識知らず	○ 子供の心を残した
× 不器用	○ 地道に頑張る

 「悪口が悪口ではなくなる言い換え」

×の言い方	○の言い換え
× 年寄りじみた	○ 大人の雰囲気がある
× 飽きっぽい	○ 多趣味
× 芽が出ない	○ 大器晩成型
× 仕事が遅い	○ 仕事が丁寧
× うるさ型	○ 論客
× 性格が弱い	○ ナイーブ、繊細
× 文句が多い	○ 自分の意見を持った人
× 経験が少ない	○ 新鮮な発想ができる
× 即戦力でない	○ 将来性がある
× まかせきり	○ 権限を委譲している
× 部下に甘い	○ 部下を信用している
× 時間がかかる	○ 慎重である

 「柔らかく伝えるための言い換え」

×の言い方	○の言い換え
× 狭い	○ コンパクトな、こぢんまりした
× ありきたりの	○ 定番の、人気の
× つまらない	○ 難しい
× 不便なもの	○ 使いこなす楽しみがある
× 古い	○ 伝統がある
× ボロ	○ アンティーク調の
× どこにでもあるような服	○ 定番物
× 乱雑な	○ 生活感がある
× 騒々しい	○ 活気がある、威勢がいい、にぎやか
× 安物	○ リーズナブル
× 貸したお金	○ 立て替えたお金
× 不味い	○ 好きな人にはたまらない
× わけがわからない	○ 抽象的、芸術的

 「ヒドい言い方にしないための言い換え」

×の言い方	○の言い換え
× マザコン	○ 母親思いの人
× 派手な人	○ 印象に残る人、華やかな人
× 悪趣味	○ 独特のセンス、個性的
× 流行遅れ	○ 時代に流されない
× 古くさい	○ 伝統を大切にする
× 目つきが悪い	○ キリリとした顔だち
× 無愛想	○ クール、無口
× マニアック	○ 一つの事に精通している
× 友達がいらない	○ 自立している
× 無職	○ フリーランス
× スッピン	○ ナチュラル
× 趣味がない	○ 仕事熱心、仕事一筋

◎プロが教える会話の鉄則「使ってはいけない言葉」

これにも「なるほど」という解説がついています。

以下の4点ですが、なるほどと思います。

- 「どうも」はあいさつではない
- 「ぜひ」は言い換える
- 「結局は」は何度も使わない
- 大人は「いいえ」とは返事をしない

◎相手をムッとさせてしまう日本語

- × そんなこと言った覚えはない
- × 解釈の違いだね
- × まあ黙って聞いてよ
- × そんなこと言ったら人に笑われるよ
- × ほかにすることがあるだろう
- × 恥ずかしいと思わないの？
- × みんなそう言ってるよ
- × 話にならないよ
- × それは理想論だよ
- × そこを何とか
- × そう言われましても
- × 参考になりました
- × 常識だよ
- × だから言ったじゃないか
- × ○○してやったじゃないか

私自身が反省することが多々ありました。

◎会議を仕切る時の基本フレーズ

- 定刻になりましたので
- お忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございます
- ご発言中ですが、要約させていただくと
- すみませんが、○○に絞ってご意見をいただけますでしょうか
- 恐縮ですが、手短かにお願いします
- 面白いお話ですが、本題に戻しますと
- ちょっと意見の整理をしておきましょうか
- その議論はまた別の機会に
- 他の方の意見も伺いたいと思います
- ほぼ意見も出つくしたようですね



その他、ニヤニヤしてしまうところ、そうだそうだと思うところ、など満載です。ご一読をお勧めします。

421 コンピューティングの発展で生活はどう変わる？
No.66 2014年3月

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- コンピューティングの発展経緯を再確認していただく。
- これから未知数の発展がありそうな領域を確認します。

ねらい：

- できていないものを作りましょう！

「コンピュータって？」という本を見ました。著者は、ポール・E・セルージュという米国の技術史の専門家です。



原著はコンピューティングという題ですが、日本ではコンピューティングという言葉がなじみが薄いのでコンピュータってという書名にしたそうです。

コンピュータは機械のことを指し、コンピューティングはその

働きのことを指します。

原著は、コンピュータがどういう発展を遂げその結果コンピュータがどういうことができるようになったかを解説しています。

あらためて、コンピューティングの歴史を振り返ることができました。原著では、最近の歴史の捉え方は、以下のように非常に大ざっぱなものです。

- ・ PC
- ・ ワールドワイドウェブ
- ・ スマートフォン
- ・ ソーシャル・ネットワークとグーグル
- ・ フェイスブックとツイッター

そこで私なりに、何ができるようになったかを、「どのような人間の活動を支援してくれているか」の視点で整理してみました。

その延長で、何がまだできていなく今後期待できるものかも想定してみました。

まず大きく「情報処理系」と「制御系」に分けました。

「情報処理系」は、コンピュータの処理結果を受取る相手が人間です。

「制御系」は相手が非人間（機械・装置等）です。モノを動かすのです。

「情報処理系」の「基本機能」は、コンピュータが行う基本の機能で、計算する、記憶する、判断する、です。この場合の「判断」は、人間が考えてプログラム化したものだけです。

次いで、「情報処理系」の相手は人間ですから、人間とコンピュータとのやり取りを円滑に行えるような技術が必要です。

これが「マンマシンインタフェース技術」です。

それらの基本機能。基礎技術を使って人間にとって便利な応用機能が生まれます。

「応用機能」では、人間が考えた論理の範囲でしかコンピュータは判断しませんが、「高次応用機能」となると、人間が考えていない、知らない結果を導き出します。

「機械学習」は、コンピュータが記憶している大量のデータを分析して機械が学習して答えを出すという意味の言葉で英語ではマシンラーニングというようです。

表の例の中にある「探し物を探す」は、以下の内容です。

日立製作所のヒト型ロボット「エミュール2」は室内の探し物を見つけだす。

天井の監視カメラとネットワークで接続し室内の状況を常に把握。

「腕時計はどこですか」と尋ねられると対象物を瞬時に識別し、その場まで案内してくれる。

(日経新聞 2013年2月7日)

実用化はこれからです。

現在は、大量のデータを与えて、「何が言えるか分析してみろ」という機械任せの「ディープラーニング」という手法も開発されているようです。

「社会との情報交流」は、インターネットによって実現した画期的な生活進歩です。

ほとんどが10年前には想定できなかったものです。今や、多くの成人にとって、インターネットとの繋がりがなしでの生活は考えられなくなっています。

あらためて凄いことだと思います。

こうしてみると、これからの領域として期待されるのは、「対人コミュニケーション」「五感の代行」最後は「感性の代行」です。

「対人コミュニケーション」は、相手の状況を見ながら判断するので、人間でもKYの人は苦手です。

これらができるようになると、優れた面を持っているけれども話すのが苦手という人の活躍の場が広がりそうです。

「五感の代行」は、脳神経系のメカニズムが解明されれば実現も夢ではないでしょう。

「感性の代行」は、大脳そのものの働きを受けとめるのですから、かなり難しそうです。

たとえば「作曲」は、ビッグデータ分析を基礎にしてその時の気分・感激・感情によって基本メロディが出てくるといったレベルから始まるのでしょうか。

難しいようですが、「必要は発明の母」です。いずれできるようになることを期待しましょう。

制御系は、あまりいろいろ想像ができません。情報処理系と違って、異次元の発展領域はなさそうです。

どなたか補ってくださいませんか。

制御系の究極形は、本格的ダッチワイフだと思います。

この実現には、五感の代行、感性の代行の成果も必要でしょう。

できたとしても、売れるでしょうか??
このように、コンピューティングの発展はまだ無限の可能性があるので。チャレンジしてみませんか?

A 情報処理系 注 青 字 * 付 き は 、 現 在 の と こ ろ 未 開 発 の 領 域 で す。	【基本機能】	
	計算する	計算機、 スーパーコンピュータ
	記憶する	記憶装置
	判断する	与えられた条件で
	【基礎技術】マンマシンインタフェース技術	
	入力する	音声認識
	相手を識別する	画像認識、指紋認証
	案内する	合成音声
	【応用機能】	
	事務処理をする	情報システム
	設計する	3Dプリンター
	会議をする	テレビ会議
	道案内	カーナビ
	経路案内	乗換案内
	動画を作る	CG、ビデオ
	ゲームを作る	ゲームソフト
	巨大動画を作る	プロジェクトマッピング
	【高次応用機能】	
	(分析する)	ビッグデータ)
	予測する	株価予想 売れ筋予想
	予想する	天気予報
	探し出す	マルウェア(悪意情報)
	(アドバイスする)	機械学習)
	診断する	ガン診断など
	お勤めする	お料理レシピ
探し物をする	高齢者支援	
【社会との情報交流】		
検索する	検索エンジン、Google	
情報入手する	Wikipedia	
情報発信する	ブログ、ツイッター	
コミュニケーションする	LINE	
相手と交流する	SNS、Facebook	
欲しいものを探す	ネット市場 Amazon	
オークションする	楽天	
【対人コミュニケーション】		
会話する*	同時通訳*	
話し相手をする*	iPhone4の人工知能ソフト「Siri(ちゃん)」	
交渉をする*		
相手の反応を見ながらプレゼンする*		
司会をする*	(究極の状況判断)*	
【五感の代行】		
見る*	視覚喪失者用*	
聞く*	聴覚喪失者用*	
しゃべる	声帯損傷者用	
匂いを感じる*	警察犬代わり*	
【感性の代行】 脳からの直接処理		
作曲する*		
絵を描く*		
相手の感情を読む*		
難問を解く*		
B 制 御 系	自動制御(人間代行)	機械、装置 自動車自動運転
	自動処理	ATM、POS
	動く(手足となる)	ロボット
	状況判断しながら動く	掃除ロボット ダッチワイフ(両性)
	飛ぶ	人工衛星
	位置を知る	GPS
戦う	ミサイル、ロケット	

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- ネットウヨとは何かを知っていただく。
- ネットウヨが、日本の衰退を救う可能性があるかもしれないことを考えていただく。

ねらい：

- ネットウヨの出現背景を考えていただく。
- もう少し、愛国心寄りの価値観を持っていただくようにしませんか。

略語ばかりで、何でも縮めてしまう世の中です。私の月刊購読誌で「致知」に次ぐ日経コンピュータ誌が、1年ほど前「レガマイ」という言葉を6ページほどの記事のタイトルに入れておりました。

レガシー・マイグレーションの略で、レガシーシステムをマイグレーション(別システムに移行する)の略で、おそらく誰もその略語は使っていなかったと思われます。

命名者たちは、その略語を流行らせよう、その命名者は我々だ、と言いたいなのでしょう。

ネットウヨは、ネット愛好家の右翼という意味です。英語と日本語のミックスというのも奇異な感じがあります。語感も悪いですね。

ネットウヨと言わずに、ネット保守という言い方をするかたもおられるようです。その方がだいぶマシですね。

それはともかく、ネットウヨが注目を集めたのは、「右翼」と言われる田母神さんが東京都知事選で61万票を獲得したことです。

私は田母神さんは右翼と思いません。私のブログ「右翼とは何か??」をご覧ください。

http://uenorio.blogspot.jp/2013/12/blog-post_87.html

氏は、選挙演説でも、

「太平洋戦争は日本の一方的な侵略戦争ではない！」

「南京大虐殺はウソだ！」

「韓国慰安婦の強制連行もウソだ！」

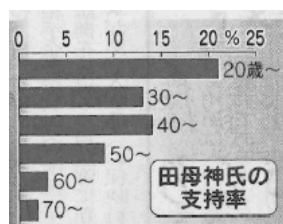
と言っておられたようです。

これは正しい歴史を知っている人間から見ると そのとおりのお事実です。氏は正当な愛国者で、右翼ではなく中道です。橋下徹さんと同意見です。

2月16日号の日経新聞「風見鶏 見えたかネットウヨの集票力」というタイトルで都知事選の分析をしています。

それによると、田母神さんの支持者の年代は以下のようになっているようです。

「日本経済新聞社の世論調査によると、田母神氏の支持者は年齢が若い層ほど多く、20代では舛添氏に匹敵する支持を得た」



「民放の開票速報番組で、キャスターの池上彰氏は『自民党支持層の一部が田母神氏に流れた』と解説していたが、むしろこれまで自民党の居候していた右翼が自立を始めたとみる方が妥当ではないだろうか」

若い層が愛国心に燃えているということは意外です。

若い層は政治や社会に無関心で、だからこそ、選挙で票を集める政治の仕組みでは、投票率の高い高齢者におもねる政策が主流となっています。

若い層が政治に関心を持つのは非常によいことです。

従来の高齢者優遇の年金制度をはじめとする社会保障制度、若者の職を奪っている雇用制度、等の偏りが見直されていく力になります。

若者が元気な社会が発展することは論を俟ちません。

ネットを通じてそのような若者がへんに偏らないで増えることを期待いたします。その人たちを邪魔者扱い、悪者扱いしてはいけません。

そのような意見の伝道師として田母神さん、渡部昇一さん、櫻井よし子さんに期待したいと思います。

423 東大卒の落語家って知ってます？

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- 東大卒にも落語家がいることを知っていただく。

ねらい：

- できれば昇吉さんのファンになっていただく。

ご存じですか？東大卒の落語家はただ一人ですがいるのです。2007年経済学部卒業の春風亭昇吉さんです。

昇吉さんは笑点でおなじみの春風亭昇太さんの弟子で二つ目のれっきとしたプロの落語家です。



いくつかのテレビにも出演しているようです。

「二つ目」というのは落語家社会の見習い、前座、二つ目、真打という4階級の一つです。「ふたつめ」という名前はよくありませんが一人前なのです。

以下、Wikipediaからの引用です。-----

二つ目は、落語家社会の中でようやく一人前とみなされる。自分の労力と時間を100%自分のためにだけ使うことが許される。師匠宅の雑用も寄席での裏方仕事もしなくてよい。以下のことが許される。

- (紋付きの)羽織を着ること。
- 番組にも名前が出る。
- 自分の手拭いを昇進の挨拶に配ること(配らなけ

ればならない)。

- 飲酒・喫煙
- 自分で落語会を開催したり、(師匠とのつながりのない) 他の落語会に出演させてもらうこと。
- 自分でテレビ・ラジオ出演や営業等への売り込みをすること。また実際に出演すること。

正規の落語家として、寄席で落語をして割がもらえるようになる。しかし、定席への出演機会は大変限られているので、仕事は基本的に自分で探してこなさなければならない。

さもなくば本当に仕事がない状態となる。前座でやってきた雑用が全く無くなった分、その小遣いがもらえる訳でもなく経済的には苦しいと言われる。最近では、芸事と関係ないアルバイトなどをするものも少なくない。

以上 Wikipedia-----

昇吉さんは岡山大学を卒業後、東大経済学部にて23歳で入りなおした根性の人です。

東大在学中の2006年に全国学生落語選手権大会で優勝し、多くのボランティア活動もしたことで、卒業時に日本人でただ一人(他に韓国人の女性がおられます)の総長大賞を受賞された逸材です。

卒業後に昇太さんに入門した東大生初の落語家です。2011年には気象予報士の資格も取られたようです。

先日、大学のあるOB会があり、そこで初めて昇太さんの新作落語を聞きました。私は、笑えばなしですっかりファンになってしまいました。

真打までの道のりは長いようですが、早く昇りきってほしいと思います。

参考：春風亭昇吉さんの紹介

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%A5%E9%A2%A8%E4%BA%AD%E6%98%87%E5%90%89>

2月25日追記

昇吉さんの落語会が行われます。

ぜひお誘い合わせの上、お楽しみください。

<http://ticket.pia.jp/pia/event.do?eventCd=1408356>

424	I T 経営者が素晴らしい小説を発表！！
-----	----------------------

No.66	2014年3月
-------	---------

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- 素晴らしい読み物をご紹介します。
- I T 人が作家に転身された例を知っていただく。(以下は作者の意図です)
- いじめを受けた者がどれだけ心に深い傷を負うものかを知っていただく。
- 一つの職業だけに自分の才能を埋没させることなく、多くの可能性にかけてチャレンジすることの重要性を再認識していただく。
- 韓国人の生き方を理解し、日韓の融和の可能性を探っていただく。

ねらい：

- それぞれお考えいただきます。

NECの海外子会社の社長、などを経験されここ数年ほどは独立のコンサルタントとして活躍されていた工藤秀憲さんが、なんとこの度「鮮光の虹」(星雲社刊)という大作でペンネーム由富学(ゆふまなぶ)で作家デビューをされました。



工藤さんには「米国流システム構築が日本企業を救う！—工数精算方式がユーザー、ベンダー双方に利益をもたらす」という著作もあります。

日本のIT業界のガラパゴス的な問題点を指摘された力作です。



この中の一つの報告で非常に衝撃を受けたことがありました。

それは、米国時代の米国のIT企業の経営者との情報交換でした。

「日本ではシステム開発を請け負いでやっているのか？バカではないか。仕様が決まっていないものを何で請け負えるのか？」と言われたそうです。

米国では請負はソフト製造の場合に一部ある程度で他はすべて受託者がリスクを負わない準委任契約だということです。

当時日本ではなるべく請負で受けて契約金額よりも少ない金額で仕上げて利益を出そう、ということが業界および通産省のコンセンサスでした。

その結果は、儲かるどころか大きな赤字を抱えたりしていました。なるほど、言われて見れば、たしかに仕様が決まっていない開発を請け負えるわけがないのです。

相前後して経済産業省等でも、

「要件が決まっていない上流での請負は好ましくない」という方針に転換しました。

そのように、IT業界でも活躍された工藤さんなのです。

私は、2部作のデビュー作品の贈呈をいただきました。ぐいぐい引き込まれる内容で240ページ強の2冊を2日間で読んでしまいました。

映画化も計画されているようで、さもありなんと云える力作でした。

あらずじは、韓国で育った韓国の絶世の美女の長くない一生の奮戦を描いたものです。

第1部は、主人公の韓国時代の生い立ちから幾つかの事業を成功させ、幼年時代に遭ったいじめの報復を行う内容です。

第2部は、主人公が日本に渡って、韓国と日本を繋ぐI

Tを含むいくつかの事業で両国の連携に貢献しながら成長していく内容です。

鮮光の虹の意味は、韓国と日本のかけ橋ということを表しています。

韓国人と日本人の思考法の違いの記述も的確にあります。たとえば、韓国人は思ったことをそのまま発言したり行動したりする、日本人は相手のことを考えて遠慮する、韓国人は身内・準身内以外には冷たい、日本人は他人にも親切、などです。

これらのことは、私の最近の韓国の国民性に関する勉強結果と一致しています。

小説ですから内容はぜひ本書をご覧くださいと思いますが、主な登場人物は以下のとおりです。

主人公：

絶世の美女ながら幼少の頃は虚弱体質だったためにいじめに遭う。このいじめに復讐しようという意思が彼女を「成功」に駆り立てる。彼女の類まれな美貌・知力・精神力がストーリー展開の軸になっている。

主人公の母親：

幼少の戦争時代に日本軍兵士にいたずらされそうになり、それ以来強く日本嫌いになった。

公営放送局の役員人事部長

主人公の初めの職場の上司で、主人公が化粧品会社を始めたときにパトロンとなることを企図する。

不動産経営の若手社長

主人公の日本での事業の支援をするうちに主人公の魅力に取りつかれ多くの代償を払って初めての夫となる。

IT企業の事業部長

主人公が日本での2つ目の事業であるIT事業を始めるに当り世話をする。当然、男女関係が話の流れになる。

主人公の日本での2番目の事業であるIT企業の社長クリスチャンであることから主人公が信頼して社長をお願いしたが、裏切られる。

主人公の日本での3番目の事業は主人公自らが1人で奮闘したので男性は登場しない。

美貌の主が主人公なので、男女関係も話の重要な部分を占めています。作者の「濡れ場」の描写は、エロ作家の上を行くと思いました。読まれる方はお楽しみに。



現在のように、日韓関係が厳しい状況においても、一方的に相互理解を閉ざすということではなく、相互理解を促進する工藤さんの著書は非常に有意義だと思いました。

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- サクセスワイズ社・村田美夏社長を知っていただく。
- 女性の活用策の動きを知っていただく。

ねらい：

- 女性の活用について貢献していただく。

前項の「東大卒の落語家を知っていますか??」でご紹介した春風亭昇吉さんにお会いしたのと同じOB会でお会いした美才女のご紹介です。

NEW-S-COREのサイト Interviews

<http://gipj.net/interview/2013/02/13/174/>



以下の写真はこのサイトからの転載です。

村田さんはサクセスワイズという会社を経営しておられます。

社名： 株式会社サクセスワイズ

代表者： 村田 美夏

1993年	東京大学 経済学部経済学科卒
1993年	日本長期信用銀行入行 本店・国際与信担当（ブラジル、ロシア、アルジェリア、アルゼンチンほか） 名古屋支店・法人営業担当 名証一部上場企業、未公開企業ほか） 本店・マーケット担当（外国為替ほか）
2000年	独立 海外&日本のベンチャー企業支援
2010年	当社設立 代表取締役就任

東大の経済学部は、なんと！！首席で卒業とのこと。以下の経営方針をご覧ください。なかなかいいですね。

会社方針

「世の中のためになることをする」
 そして、やりとげ感謝される
 なぜならば、世の中に必要なものはなくなる

企業使命 Our MISSION

社会的企業（Social Enterprise）として、社会的課題の解決をミッションとして取り組む。自社の利潤の最大化ではなく、ミッションの達成を最優先する。

サクセスワイズの行動規範

- ルール1 世の中にとって正しいか
- ルール2 あなたの心で考えて正しいか
- ルール3 会社にとって正しいか
- 行動の最優先は、ルール1の「世の中にとって正しいか」です。
- 次に自分自身の心で考えてルール1が正しいかです。
- 最後に会社の視点で考えてルール1が正しいかです。

事業の一つは、以下の「健康安心なび」です。
類似の試みは多数あるようですから、
どうやって差別化するかがカギでしょう。

「健康」と「安心」を必要とする消費者に直接PRして
橋渡しするサービス



サービスの目的：3つの目的で「健康安心なび」のサー
ビスを開始しました。

「生産農家の発展」



「MADE for JAPAN」の
国産品流通の活性化を目指します。
生産農家の第1次産業と飲食・旅館
などの第3次産業が本サービスを
介して結び付くことで第6次産業

の自然形成がなされ生産農家が発展できることを考えて
サービスを開始しました。

「健康で安心な生活を推進」



健康で安心な生活を推進すること
を目指しています。

口にする食べ物が健康を作り、健康
で働ける環境を作ります。

健康によって、豊かな社会が生まれ
てくると考えています。

「がんばる人にチャンス」



低価格重視の基準で取引されている商
品・サービスを「健康」で「安心」の基
準に変えるべく取り組みます。

健康・安心へのこだわりを簡単にPRし
て広める機会を作りました。

健康安心への取組努力を
新たな価値として発展して頂ければと思います。

ご承知のように、これからの日本経済を活性化する対策
の一つが、高齢者と女性の活用ということになっていて、
アベノミクスでもいろいろな促進政策が採られています。

日経WOMAN誌2013年5月号では、女性が活躍す
る会社Best100を発表しています。

その女性活用度は以下の4指標で測っています。

- 管理職登用度
- ワークライフバランス度
- 女性活用度
- 男女均等度

そのベスト10は以下のとおりです。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1位 日本IBM | 6位 パソナグループ |
| 2位 P&G | 7位 大和証券グループ |
| 3位 第一生命保険 | 8位 ソニー |
| 4位 日本生命保険 | 9位 パナソニック |
| 5位 高島屋 | 10位 野村証券 |

このような動きになってきますと、企業としては、企業
イメージの向上という面からも、実際の必要性という面
からも、女性の活用策を積極的に展開せざるをえません。

現に日立グループでは、
グループ企業30社の女性活用度を発表して（2014年1
月）、その促進を図ることを始めています。

イオングループでは、
女性活用の専門組織を2013年7月に立上げ、課長以上の
管理職の女性比率を7%（現状の社員の男女比率は5対
3）から50%に引き上げる方針を打ち出しています。

こういう動きの中で、村田美夏社長には、知性（と美貌）
を武器にしてソフトバンクの宋社長、楽天の三木谷社長、
ファーストリテーリング（ユニクロ）の柳井正社長など
のように事業を成功させて女性の目標になっていただ
きたいと思います。

サクセスワイズまたは村田美夏さんのお考えに共鳴する
方がいらしたら、連携なり応援なりを考えてくださいま
せんか。

426	「シグナル&ノイズ」予測の精度を上げる虎の巻 です
No.66	2014年3月

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- 予測の精度を上げる方法があることを知っていた
たく。
- 「専門家」の意見を鵜呑みにしないようにしてい
ただく。
- いかに一般の予測がいい加減であるかを知ろうと
していただく。

ねらい：

- 「シグナル&ノイズ」を読んでいただく。



「シグナル&ノイズ」は、ネイト・
シルバーさんというアメリカの3
0代の統計専門家が書いた本の書
名です。

この大学教授でもない人の著作が
日本でなぜ出版されたかというと、
著者の実績です。

2008年の米大統領選挙の際に50州のうち49州の
結果を当てた。

2012年の大統領選では50州全部を当てた。

野球の賭けで、詳細な分析を行って大儲けをしている。

それにしても「シグナル&ノイズ」って何の本だろうと
思います。著者は前書きでこう書いています。

(画期的に情報の伝播速度を早めた)印刷機の誕生から長い時間が過ぎた。
 情報はもはやめずらしいものではなく、その量は私たちの手に負える範囲を超えている。

しかし有用なものは少ない。
 私たちは情報を選別して、主観的に受けとめ、そこから生じる歪みには気づかない。
 私たちは知識を必要としているときに、情報が必要だと思っている。

シグナルは真実であり、ノイズは真実から目をそらさせるものである。
 これはシグナルとノイズに関する本である。

つまりこういうことです。
 現在は情報過多なので、有効な情報(シグナル)と無効の情報(ノイズ)を区別する必要がある。

そこで、以下のいくつかの領域で、なぜ予測が当たらないのかを分析しています。

読んでビックリです。
 私も大学時代にほんの少しは統計の勉強をしましたが、凄い人があるものだと感心しました。

- ソ連の崩壊
- 選挙の早い段階での予測
- リーマンショックを引き起こした住宅バブル
- 地震の予測
- 経済予測
- インフルエンザの流行予測
- ギャンブル
- 地球温暖化
- テロ
- 天気予報(当たる方の例外)

政治・経済・自然現象と多岐に亘っていますが、どれも興味深いテーマです。

インフルエンザの予測は、単に過去の流行状態を延長して推定している、状況が変化することを加味していない、のが原因。

地球温暖化は、長いレンジでの大きな変化と、小さなレンジでの動きを区別してみる必要がある。

選挙の早めの予測では、自分のひいきが影響する。

というようなことです。

では「こうすればよい」に関しては、以下のたいへん興味深い解説をしています。

予測スタイルには、ハリネズミ型とキツネ型とがある。(テトロックという心理学者の説の紹介)

「キツネはたくさんの小さなことを知っている、ハリネズミは大きなことを一つ知っている」(由来は省略。上野)

「ハリネズミというのは、大きな考えを信じている人たちだ。あたかも自然界の法則であるかのように機能し社会のすべての相互交流を実質的に支える基本原則がある

と信じている」

「キツネはこれといった原則を持たない生き物で、たくさんさんの小さな考えを信じており、問題に向けて様々なアプローチを試みる。彼らは微妙な差異や不確実性、複雑性、異なる意見に寛容である」

「ハリネズミが大物を狙う狩猟者ならキツネは最終者である」

著者はキツネ型を勧めています。

アメリカの人気報道番組での「専門家」の予測成果を調べたところ、かなり成績が悪かった。

「彼らが絶対に怒らないと言った事象の15%が起き絶対確実と言った事象の25%が起きなかった」

その中でも、ハリネズミ型はたびたびテレビに登場するのであるが、その人たちに成績が悪かった。

はっきりしたことを言う人の方が一般受けするので登場回数が多くなるのであろうが、結果はよくない、

と評価されていました。

私もかねてから「専門家」と言われる人のコメントはいい加減だと思っていました。そのとおりなのです。

ハリネズミ型とキツネ型の比較表を転載いたします。

キツネとハリネズミの姿勢

キツネの考え方	ハリネズミの考え方
総合的 もともとの政治的立場にとらわれることなく、さまざまな分野に取り組む。	専門的 1つか2つの大きな問題を専門とすることが多い。分野外からの意見は疑う。
柔軟 最初のアプローチが機能するかどうかわからなければ、新しい方法を見つけたり、同時に複数の方法を試したりする。	硬直的 全部をひっくりめたアプローチにこだわる。新しいデータはもとのモデルを補強するために使う。
自己批判的 (うれしくはないが)すすんで自分の予測の間違いを認め、非難を受け入れる。	頑固 間違いは運が悪かったと考えるか、特別な環境のせいにする。優れたモデルにも、ついていない日はある。
複雑さを受け入れる 世界を複雑なものとして見ており、多くの基本的な問題は解決不能、あるいは本質的に予測不能だと思っている。	秩序を求める ノイズのなかからシグナルを発見できれば、世界を支配するきわめて単純な原則を見つけることができると思っている。
用心深い 確率的な言葉で予測を表現し、断定を避ける。	自信がある あいまいな予測をすることはなく、意見を変えることをよしとしない。
経験的 理論より経験を重視する。	イデオロギー的 より壮大な理論や闘争により、日々多くの問題が解決されると思っている。
キツネは予測が上手	ハリネズミは予測が下手

著者はその上で、いかにキツネ型を実践的中率を上げるかのノウハウをかなり詳細に開示しています。

そのノウハウの一つが「ベイズの法則」です。この法則は以下の算式で説明されます。

この定理を面白い事例で説明しています。妻が見知らぬ女物の下着を見つけたときの夫が浮気をしている確率の計算です。

ベイズの定理——「謎の下着」と浮気の確率

事前確率		
相手が浮気をしている確率の初期見積もり	x	4%
新たな事象がおこる——謎の下着発見		
相手が浮気をしているという条件下で下着が存在する確率	y	50%
相手が浮気をしていないという条件下で下着が存在する確率	z	5%
事後確率		
下着を見つけた場合に相手が浮気をしている確率の修正見積もり	$\frac{xy}{xy+z(1-x)}$	29%

絶対に浮気だ、と決めつけるのではなく、浮気の可能性を次のように計算します。

浮気をしている確率は、浮気をしている時にその下着がある確率と浮気をしていない時にその下着がある確率の合計で浮気をしている時にその下着がある確率を割った数値になるということです。

この式で「事前確率」というのは、この計算をする以前に知られている確率で、何も「前科」がなければ、社会一般の浮気率を使います。

前科があれば、この下着が見つかる前の段階で、夫が浮気をしているのではないかということについて、どの程度の可能性を見込んでいたかということが事前確率です。

この部分の説明はたいへん面白いです。興味のある方は是非ご覧ください。

このベイズの定理の説明事例に、乳がん検査のマンモグラフィのことが載っています。

マンモグラムはガンでない女性を検査しても10%の確率で間違っガンと診断する。一方、もしその女性がガンであれば75%の確率でガンを発見する。(逆に言うと25%は見逃す)

この結果をベイズの定理に当てはめてみればマンモグラムで陽性であるという条件下で40代女性が乳がんである確率は10%しかないのだ。

そもそも若い人で乳がんになる人は非常に少ないので、擬陽性のサンプルが全体に与える影響が大きくなる。

以上ほんのさわりしかご紹介できていません。590ページの大作ですが、予測に関わる方はぜひご一読ください。学術的研究書ではなく、実際に野球くじなどで大儲けしている人の意見なのですから。

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- 日本の重要課題を再認識していただく。
- 葛西敬之さんをもっと知っていただく。

ねらい：

- 日本の重要課題の解決にご尽力ください。

このテーマは、私の愛読誌「致知」からのご紹介です。

致知 2014年3月号に、葛西敬之さんと櫻井よしこさんの対談記事「自分の国は自分で守る」が掲載されています。

櫻井よしこさんは万人の認める国を憂える方です。

対する葛西さんは、東京オリンピックの開催が決まって期待の高まるリニア新幹線の早期実現を積極的に推進されていることで時代の人となっています。

私は不勉強でしたが、葛西さんは「財界を代表する論客として知られ」ている方なのだそうです。

対談中、櫻井さんに「なるほど」と言わせることが多々あるのですからスゴイものです。

このお二人で対談されるのですから、「自分の国は自分で守る」についても「そうだ、そうだ!」「そうか!」という的確な指摘が満載です。

検討テーマ（見出し）は以下の内容です。

「米国が失望すべきは中国である」
「民意に従うのではなく民意を啓発せよ」
「原発を止めるべきではない これだけの理由」
「同盟国アメリカの変化をどう見るべきか」

「言葉が乱れた時 国が減じる」

この見出しでは何を言いたいのか分かりませんので、このなかでの葛西さんの発言をご紹介します。

「歴史を見れば、バビロンという国は神に対して傲慢になったため、神は「言葉を乱す」という天罰を与えたと旧約聖書に書いてあります。

それはどういうことかという、バビロンは非常に繁栄した国でしたが、周辺の民族が流入してきて多言語になり、アイデンティティのない国になって減んだと考えられます。

それからローマ帝国ももともとは質実剛健、粗衣粗食に耐え、武力に長けた人たちでした。

しかし、周辺のギリシャやエトルリアなどを征服し、もともとは奴隷として連れてきた人たちもいつの間にか市民権を得てアイデンティティのない国になった。

そして最後には頼るべき軍事をゲルマン人に外注してしまい、あの国は減んだと思うのですね」

「中国の膨張政策は強さか、脆さの表れか」
「いま日本が大戦略を立てる時」
「中国に後れをとる海外広報戦略」
「使用済み核燃料の再使用技術が国防になる」
「ポピュリズムのリーダーが国を滅ぼすこともある」
「立派な日本人を育てることが日本の未来を担保する」

皆さま、どの項目の内容をお知りになりたいですか？

私は、この中から
「いま日本が大戦略を立てる時」
「中国に後れをとる海外広報戦略」
「立派な日本人を育てることが日本の未来を担保する」
の内容をお読みいただきたいと思って以下に転載させていただきます。

ぜひこの際、皆様も致知の購読者になられて問題意識を共有する仲間になっていただきたいと思います。

致知の購読申し込み先：<http://www.chichi.co.jp/koudoku>

いま日本が大戦略を立てる時

櫻井 いまの、ソビエト崩壊の始まりが79年のアフガニスタン侵攻だったというお話は、凄く大事なポイントを思い出させてくださいました。

あの時、アメリカのカーター大統領は「私は甘すぎた」という反省の言葉を口にして退陣し、次のレーガン大統領になったわけです。

その途端、スターウォーズ政策で宇宙へと軍拡をしましたが、この時アメリカの国防総省はこういう戦略を立てました。

アメリカはカーター政権時には軍縮傾向にあったが、ソビエトはその間、軍拡をし続けた。だから、これまで以上にソビエトに軍事予算を使わせ続けたら経済的に追い込むことができる。

アメリカが少なくとも年率4%で軍拡をすれば、ソビエトはこれまでに加え、さらに4%上積みしなければならぬから、ソビエトの計画経済では追いつかないだろう。

だから一発の銃弾も打たずに、アメリカは十年以内にソビエトをつぶすことができるという大戦略でした。

それに忠実に従って、レーガン大統領はこのスターウォーズ政策をやり続けました。そうして89年にベルリンの壁崩壊、91年にはソビエトが崩壊。

だから、本当にソビエト連邦は十年で消滅したんですね。

我われは、いまあのような大戦略を中国に対して描かないといけないと思います。

葛西 櫻井さんであれば、どんな戦略を打ち出されますか。

櫻井 私はまず日本国が憲法改正をしなければいけないと思います。日本国が日本国民を守り、日本国の領土領海領空を守るといふ、独立主権国家としては当然の大前

提に立つべきです。

それによって、いま自衛隊の機能を大きく殺いでいる制約をなくすことができます。

その上で、集団的自衛権の行使を成し遂げ、他国と十分協力できる体制をつくる。同時進行で国防予算をもっと増やして、自衛隊員を増やし装備も充実させていきます。

サイバー攻撃の分野は我が国はとりわけ遅れていますので、ここを急速に補強します。

中国に遅れを取る海外広報戦略

櫻井 もう一つ重要なのは、情報戦において、決して負けないように努力します。海外広報で日本はとても遅れています。

葛西 確かにそうですね。

櫻井 いま中国の海外広報予算が1ドルを百円と換算して、少なく見積もっても8千億円、換算率によっては1兆円にも上ります。

一方で日本は178億円、200億円にも満たないので、中国とは1対50くらいの開きがあります。

中国はそのお金を使って、日本と価値観を同じくするアメリカやヨーロッパ諸国を反日に転換させるための情報戦略を展開しているのです。

例えばいま世界中に孔子学院をつくっています。孔子の教えなんて、中国人自体が全然信じていない。しかし、あたかも中国が素晴らしい文明国のような誤解と親近感を醸成しようとしています。

加えて中国版のCNNニュース放送を24時間365日、アメリカ、ヨーロッパなどで展開しています。アメリカの優秀なキャスターを高給で引き抜き、英語やスペイン語で放送するのですが、原稿は中国人が書く。

葛西 1930年代と一緒にですね。

櫻井 そうです。あの頃の国民党もいまの中共も漢民族です。彼らのやるのが同じだと思うのは、彼らの対日情報戦略の一番のポイントは外国人を使うことなんですね。

自分たちは絶対に表に出ないで、外国人にお金を渡し、反日の宣伝をさせる。南京大虐殺の捏造もこの一例ですが、いまも世界中で同じことをしています。

中国はまた、アメリカ知識層取り込みのために、シンクタンクに研究費を寄付しています。私もシンクタンクを主宰していますから身に染みて分かりますが、例えば、100万ドル、1億円は大変大きな寄付なのです。

そこに中国は10億単位で寄付をするわけです。あるいは、寄付で各大学に中国の冠講座をたくさんつくり、中国人の教授や博士課程の学生も増えています。

そういうお金の使い方によって情報や知的分野でのアメ

リカやヨーロッパの知識層の取り込みを猛烈に進めています。

対する日本の海外広報戦略はまだまだ序の口ですね。アメリカの10大シンクタンクに毎年10億円ずつ寄付するくらいのことをしてもいいと思います。

こういうところに戦略的に予算を使っていくべきだと思いますね。

葛西 中国の場合、黒を白と言わせなければいけないので多額のお金が必要なのだと思いますよ。

しかし、金の切れ目が縁の切れ目になる可能性もありますね。日本がちょうど経済成長をしている頃、アメリカは双子の赤字と言われる財政難の時代で、アメリカのシンクタンクはみんな日本を称賛していました。

エズラ・ヴォーゲルという社会学者は「Japan as No.1」という本を書きましたが、あの人、しばらくしたら中国が一番だと言っていますよ。

ああいうのはクラゲのようなもので、波があればクラゲも浮き上がり、下がれば去る。

そういったことをしっかり見極めて、海外広報活動を戦略的に展開していくべきだと思います。

立派な日本人を育てることが日本の未来を担保する

櫻井 私は先ほどの「グローバリズムは経済のこと」というご指摘がとても心に残りました。

その理論を国のあり方や人間論に混同してはいけませんね。だからといって対立するものではなく両立するものなのです。立派な日本人が立派な国際人なんです。

その意味で教育も、これからの日本人が自らの国を守るために非常に大切な政策だだと思います。

「歴史を知らない人間は人間ではない、豚だ」と言ったフランスの哲学者もいたそうですが、戦後の日本はあまりにも自虐史観が横行し、正しい歴史を教えてこなかったと思うんです。

従って、自分が何者かを知らないような人間が増えてしまいました。

大人たちはもっと日本の歴史や偉人の話を子供にしてあげたらいいと思います。

そういうと、どこから始めていいのか分からないとおっしゃる人もいますが、自分のおじいさん、おばあさんから始めたらいいいと思うんです。

うちのおじいさんは会社をちゃーんと勤め上げ、勤勉に一生過ごしたんだということは、平凡なようですけれども、決して軽んじてはいけません。

葛西 そうですね。

櫻井 平凡であることの素晴らしさ。そして、平凡であ

るけれども実に勤勉な国民を束ねた偉人が日本にはたくさんいます。

そういった人たちの事例を家庭教育で教えていくことが、日本に対する誇りを子供たちに抱かせる第一歩だと思います。

葛西 自国の言葉、自国の歴史に対する帰属心、そして自国への誇りを失った時、国は滅びると思います。特に国を守る基本は歴史です。戦後の日本人は特に明治維新から昭和に至るまでの知識がなさすぎます。

櫻井 悲しいけれど、同感ですね。

葛西 私はそこをきちんと押さえることが大事で、小さい子供にいきなりそこは難しいかもしれませんが、少なくとも大学を卒業する時点では、日本の近代史について正しい知識を持たせることが大事だと思います。

何か近代の日本は間違っただけばかりやってきたかのように教える人たちがいるので大変誤解されていますが、日本はおそらく世界のあらゆる文明国の中で、国際法遵守の点でも、人道的な面でも、最も誇り得る歴史がある国だと思うんですよね。

櫻井 1919年に国際連盟規約をつくる時、人種差別撤廃を申し入れたのも日本です。それは白人につぶされて実現しませんでした。私は日本は世界に誇るべき国であったと思います。

家庭も社会も人間がつくるものです。人間がしっかりしていれば、崩れかけてももう一度立て直すことができます。

反対に愚かな人間しかいなくなれば、どんなに資産があってもすぐに失ってしまいます。ですから立派な日本人を育てることが、日本を守り、日本の未来を担保する一番の道であることを心していきたいですね。

428 日中韓の国民性の違いはどうなっていますか？

No.66 2014年3月

【このテーマの目的・ねらい】

目的：

- 日中韓3カ国の国民性の違いを整理してみる。
- どこがどう違うのかを再認識していただく。

ねらい：

- 今後の対外関係を考える時の参考にさせていただく。

私の最近の継続探求テーマは、中国問題と韓国問題です。以下の書籍についてご紹介してきました。

- 「相手が悪いと思う中国人、相手に悪いと思う日本人」(加瀬英明・石平著)
- 「なぜ中国から離れると日本はうまくいくのか」(石平著)
- 「習近平と中国の終焉」(富阪聰著)
- 「中国はもう終わっている」(石平、黄文雄著)
- 「なぜ反日韓国に未来はないのか」(呉善花著)
- 「日本人は中韓との「絶交の覚悟」を持ちなさい」(石平、黄文雄、呉善花著)
- 「鮮光の虹」(由富学著)

などを読んでいるうちに、3カ国はどうも基本的に国民性・思考法の差があると感じるようになりました。

かなり、私の主観と偏見が入っているもののご理解いただければ幸いです。（下表ご参照）

そこで私なりに3国の国民性の違いを表にしてみました。

これで見ても中国と韓国は近く、日本はその2国とは離れています。

国民性とは、国民の思考・行動の全般的または平均的傾向を言うのであって、すべての国民がそのように思考・行動するというものではありません。

ということは、最終的に根っこから理解しあうことはムリで、その前提で当面の両国の利害を一致させていくしかない、ということになるのではないのでしょうか。

他国の国民と比較するとこういう点が特徴だ、というものです。

日中韓の国民性比較

項目	日本	中国	韓国
宗教	仏教・キリスト教等の正規の宗教の信者は非常に少ない。多くの国民は漠然と「神」を信じている（「悪いことをすると神様に罰せられる」としつけられている）。	多くの国民にとって頼るべき神はいない。 →無宗教国家	クリスチャンが非常に多かったが、現在は30%に減っているらしい。儒教思想の影響が行動に強く現れているが、最近は薄くなりつつある。（親を大事にする・男尊女卑は薄くなってはいるが根強く残っている）
自己主張	和を重んじて、自己主張を遠慮する。日本人のこの体質は世界で見ても、非常にユニークであり、世界では理解されない	アメリカンドリームと同じで成功を夢見て行動する。成功のためには、自己主張は必須である。プライドが高いため、公衆の面前での恥や外聞の悪さを極端に嫌う。	自己主張しなければ生きていけないような歴史的環境下で育ってきた。オブラートにくるまずに自己主張する。
身内意識	身内意識は中国韓国に比較すれば弱い。身内以外の人に対しては、摩擦を起したくないという思いが強いく、仲良くしていきたいという思いがある。	親類縁者への身内意識は、極端なほど強い。外部の人と同士を作りたがるが、最後に頼れるのは親類縁者だけだという意識が強い。	身内・準身内以外は心底信じあえる仲には成り難い。長い歴史の中で、王家のようなところでは、身内の排除（殺し合い）は日本の比ではないくらい多い。
価値観	付和雷同タイプが多く、明確な価値観を持たない。他者の多様な価値観を排除はしないが、一定の枠からはみ出る価値観を認めない。	現在は、アメリカ的な成功（蓄財）が、多数の人の最大の目標であり、最大の価値である。この価値が、善か悪か、有利か不利かより優先する。	善か悪か、有利か不利かの2言論的価値観は、儒教やキリスト教の影響もあり、中国ほど露骨ではない。
自己保全	多くの場合、集団（家族、会社）のために自己を犠牲にするという行動をしている。この特色がだんだん薄れてきている。	親類縁者・自己が生きのびることが最優先。子供よりも自分が大事。	自己を犠牲にしても親兄弟のために尽くすという意識、行動は強い。例えば、親のために臓器移植をするとか、身を売るといった行動は日本人より強い。
家族観	伝統的「家」重視の家族観は崩壊しつつある。	親・先祖重視・親類縁者の団結力は強い	親・先祖絶対重視
国家観	それほど国家を意識しない。通常は「そんなに悪いことはしないだろう」と「お上」を信頼している。	中華思想（中国が世界の中核であるという考え方）が根強い。	無理をしてでも、自分達の国の優位性を示したい、「負けてたまるか」という意識が強い。その考えで歴史をも作り変えてしまう。
日本の見方	大和民族として誇りを持っていた。今は、戦後教育の弊で、特別な人以外は、日本の良さが分からなくなっているのではないかと。	歴史的に中国の属国として見ている。長い歴史で見れば、日本が中国より優位な時代は、米粒ほどの時間しかない。	夷狄（未開の番族）として蔑すむ考えがある。屈辱の日本統治から、日本に負けたくないという意識が強い。
文化	奥義を極め「道」を目指す精神があり、いくつもの日本文化がある。	現時点で世界に誇れるものは中華料理くらい？	「韓流」が日本で受けているが世界的な評価はない？